

2024年7月16日  
 株式会社ネクス

## OBディテレマティクスデータ端末GX700NC 脱炭素需要に対応した、機能追加バージョンの提供を開始

株式会社ネクス（代表取締役社長：大内 英史 以下、「ネクス」）のOBディ<sup>\*1</sup>テレマティクスデータ端末「GX700NC」（以下「GX700NC」）は、米国カリフォルニア州に本社を置くQualcomm, Inc（以下「Qualcomm」）が開発した位置情報取得技術のIZat<sup>TM</sup><sup>\*2</sup>機能の対応バージョンの提供を開始いたしました。

昨今、脱炭素社会の実現のために、企業ではCO<sub>2</sub>削減を求める取り組みや、物流・運送業界の「2024年問題」といわれる「働き方改革法案」により、乗用車、商用車以外にトラック・バス等の車両でも車両・運転情報の見える化への要求が高まっています。GX700NCは、設置工事不要で車両に取り付けることができ、GX700NCから得られる車両データをテレマティクスサービスと組み合わせることで、車両管理業務の効率化や運転状況の可視化による安全運転指導に加え、燃料噴射量・走行距離などからCO<sub>2</sub>排出量をより正確に測定することでCO<sub>2</sub>削減等の社会課題解決に向けたソリューションの一助となります。

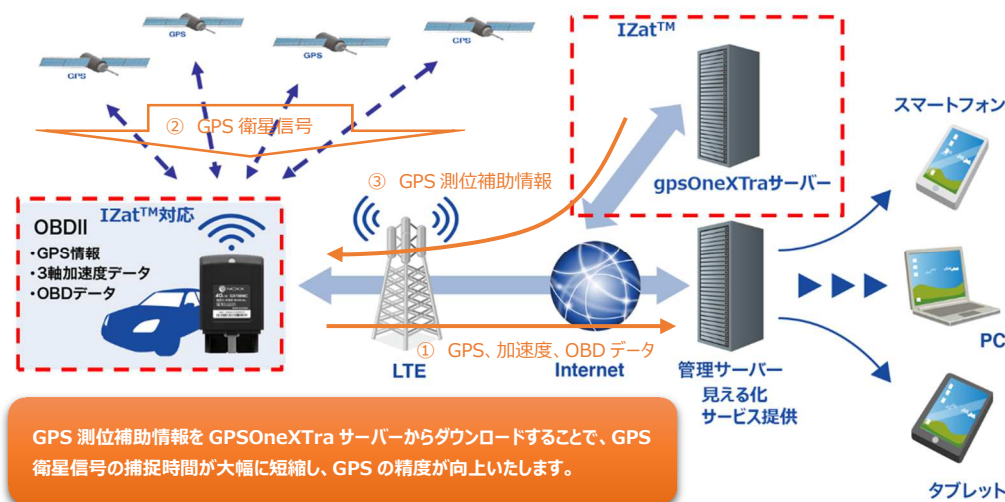
しかしながら、トラック・バスはOBディの取り付け位置が足元にある場合が多いことや、フロントガラスの傾斜が少ない車両が多く、位置情報の取得時間や精度が高まるまでに時間かかるなど、運用形態や車種によって課題が検出されることがありました。

このたびネクスでは、トラック・バスをはじめさまざまな車両や利用シーンにおいて車両データや運転の見える化ができる様に、「GX700NC」のソフトウェアにIZat<sup>TM</sup>機能を追加したバージョンの提供を開始いたしました。

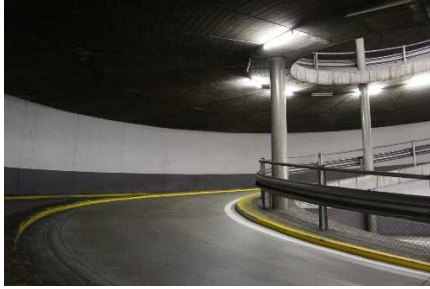
本対応によって、トラック・バスなど衛星取得がしづらい場所への端末設置などにおいて、測位時間の短縮、測位精度の向上が見込め、従来衛星測位の弱点であった地下駐車場からの利用や、衛星が補足しづらい場所（陸橋の下など）での利用にも、正確に対応することが可能となります。

\*1 OBディとは、オン・ボード・ダイアグノーシスの略で、車両に搭載されたコンピュータがおこなう自己故障診断システム用のコネクタ規格のバージョンアップ版で、車両故障診断情報の他、車速、エンジン回転数などの情報が取得可能。

\*2 IZat<sup>TM</sup>とは、Qualcommが位置情報取得の機能向上のために開発した方式です。「GX700NC」に内蔵したQualcomm IZat<sup>TM</sup> Gen8C Engine<sup>\*3</sup>とLTE回線を使用して、QualcommのgpsOneXTraサーバー<sup>\*4</sup>からアシストデータ<sup>\*5</sup>を取得して測位動作が可能となります。従来、車両のエンジンオフからエンジンオンまで2~4時間以上空いた場合、位置情報取得に必要な衛星情報（アルマナックデータ・エフェメリスデータ<sup>\*6</sup>）の再取得に時間がかかり測位が遅いといった課題を、「GX700NC」はIZat<sup>TM</sup>機能を活用して測位時間を短縮することができます。



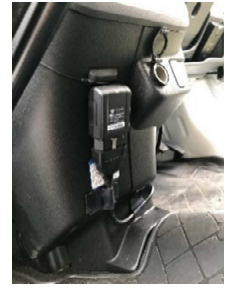
(機能構成イメージ)



(地下駐車場出口)



(トンネル出口)



(端末取り付け位置)

## LTE 対応 OBD II テレマティクス端末「GX700NC」


**基本項目**

- ・ アクセル・ブレーキスイッチ含む12項目のデータが取得可能
- ・ 1,600車種に対応(\*1を除いた場合)

**拡張項目**

- ・ VIN, DTC, ABSなど、28種類のデータを追加可能

基本項目	
瞬間燃費	積算距離
燃料噴射量	積算燃料
車速	バッテリー電圧
エンジン回転数	加速度センサ
エンジン冷却水温	位置情報
アクセル開度(*1)	ブレーキスイッチ(*1)

\*3 Qualcomm IZat™ Gen8C Engine：Qualcomm 社製モデムチップセットに内蔵した IZat™ を動作させるソフトウェアモジュールです。

\*4 gpsOneXtra サーバー：スタンドアロンで動作する GPS 機器では、衛星情報が受信できないシーンにおいて位置情報の計算に必要な情報を通信ネットワーク経由で提供する Qualcomm 社独自のサーバーです。

\*5 アシストデータ：GPS 衛星の軌道情報で、アルマナックデータ及びエフェメリスデータと呼ばれるものです。

\*6 アルマナックデータ・エフェメリスデータ：

- ・ アルマナックデータ：軌道上におけるすべての衛星に関する軌道情報。
- ・ エフェメリスデータ：各衛星の正確な位置情報と信号を発射した時刻情報で本データを用いて自機の緯度経度を計算する基となるデータ。

**【株式会社ネクス】**

代表取締役社長 大内 英史

花巻本社：岩手県花巻市柵ノ目第2地割 32 番地 1

東京本社：東京都港区南青山 5-13-3 KDX 南青山ビル 3F

各種無線方式を適用した通信機器の開発、販売。上記にかかわるシステムソリューション提供及び保守サービス

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社ネクス

営業部 TEL：03-5766-9872

Mail: sales@ncxx.co.jp